

市内最大規模 競技場面積は 体育館が完成



七月から工事が行われていた秋内体育館は、先月十九日しゅん工式が行われ、完成しました。同体育館は、競技場面積が市内で一番大きく、身体障害者も利用できるような設備になっており、今後地区住民などのスポーツ振興に大いに役立つものと期待されています。

完成した秋内体育館は、スポーツの盛んな地区住民やスポーツ愛好者からの強い要望があり獅子ヶ森に建設したものです。同体育館は、延床面積千四百七十三平方メートルの鉄骨平屋建てで総工費九千二百二十九万円。競技場面積は、市民体育館よりひと回り大きく、九人制バレーコートが二面、バドミントンコートが六面とれる広さになっています。このほか男女シャワー室、会議室など多目的に利用できるようになっています。また、身体障害者の方々の利用できるように入口にはスロープや自動ドア、専用トイレなどを配置しています。市では、「健康都市大館」の建設をめざし、市民の皆さんが気軽に健康づくりができる体育館を城西地区、十二所地区などに順次建設することになっています。

秋内体育館の使用申込みは
☎ 48-4461

▲体育館の外観
▼広々とした競技場



第八回高校球算東北大会で大館商業高校二年畠山智晴君が個人総合優勝し、東北一の栄冠を獲得しました。同大会は、昨年十一月二十九日に宮城県石巻高校で、東北各県から代表百八十人が参加して行われたものです。畠山君は、小学校三年のときに友達に誘われて球算を始め、高校に入ってからメキメキ力を付けました。一昨年の同大会では個人三位、そして今回の個人総合優勝は、秋田県からは初めて「ガールフレンド」から「おめでとう」といわれて感激しました。練習は、放課後球算部で二時間するだけ。スポーツはあまり得意ではありませんが、気分転換と体力をつけるためサッカーをやっているとのこと。今年さらさらがらんぼって全国一を目指してください。



第八回高校球算東北ナンバーワン
大館商業高二年 畠山智晴君

秋内体育館の使用料

使用場所	使用時間			使用区分		
	時 時	時 時	時 時	時 時	時 時	時 時
会議室	8~17	17~22	8~22	時8~12	時12~17	時17~22
	300円	400円	500円	時8~12	時12~17	時17~22
	3,000円	4,000円	5,000円	時8~12	時12~17	時17~22
体育室	入場無料	1,500円	2,000円	3,000円	2,000円	4,000円
		3,000円	3,500円	6,000円	5,000円	9,000円
	入場有料	3,000円	3,500円	6,000円	5,000円	9,000円
		9,000円	10,000円	18,000円	14,000円	26,000円
	営利・営業を目的とする使用	9,000円	10,000円	18,000円	14,000円	26,000円
		9,000円	10,000円	18,000円	14,000円	26,000円
会場整備のための当日以外の使用			1日につき 3,000円以内			

※土、日曜日、祝日に使用する場合は、使用料金表に定める額の三割増しになります。

家庭教育相談所の ご利用を

市では、昨年六月から家庭教育相談所を設け、家庭内における教育上の悩みについて、相談に応じてきました。この家庭教育相談所には、中学生の子どものもつ親からの相談が多く、十一月末までに電話相談が三十件、面接相談が二十七件ありました。面接相談が二十件、電話相談が七件ありました。

相談内容は、中、高校生に多く、これからは増加する傾向にあります。

- ・登校拒否や家庭内暴力、神経症の行為、不安状態など情緒問題
- ・登校拒否は、中、高校生に多く、これからは増加する傾向にあります。
- ・学力不振や進路、家庭学習問題
- ・高校受験、進学に対する親子の意見対立、小、中学生の学力不振など
- ・性格、行動など社会性、適応性の問題
- ・集団からの逃避、交友関係が少なく、盗み

反社会的な振舞いなど。しつけ、生活問題、幼、小、中学期の基本的な生活習慣、自主性、自立心を育てるなど

家庭環境問題、母子家庭、出稼ぎ、祖父母、兄弟関係について

このように、親の深刻な悩みが出されています。相談員は親や学校などと連絡をとりながら解決を計っています。

家庭教育問題については、お気軽にご相談ください。電話でもご相談に応じています。

▲相談日 毎週火曜日
午前9時~12時
午後1時~4時

▲場所 市役所会議室
家庭教育相談所
☎ 49-3111
右川 アイさん

われらが町内 わがグループ

No.35

～東風吹かば
天神様のご利益が～

独結町



市役所から国道七号線に沿って北へおよそ百メートルに位置する独結町。そのむかし比内、独結に城を築いた浅利氏の家臣(足整)が、佐竹侯に服したのち居を構えたことからその名がきています。昭和二十年代には水田や畑地が多く見られましたが、四十年代に入り急速に宅地化が進み、現在は住宅地としてほとんどがサラリーマン世帯で、現在百六十四戸、およそ八百人の中規模の町内です。同町内には字地名で言うところの丸、長木川南、水四前の三つの地名が混在していますが、むかしから馴染み深い「独結町」の名のもとに、町内活動は活発です。三の丸の秋田犬会館裏の崖下にある天神様は佐竹侯の守り神として、また独結町の守り神としても住民に親しまれています。いっしょに宗教的な色合いはなく、「せつかくそばにりっばな神様があれから神様を通して町内のみんなが親睦を深めよう」と町内会長の佐藤俊一さんらによります。

今、独結町内会でも最も望まれているのが、町内会館の建設です。いつでも自由に集まれる場所があれば、もっと情報交換もできるにと、これだけは神だのみだけでは、まなならぬようです。

んらは地区住民に呼びかけました。当初、異宗教の人たちからの拒絶や誤解も受けたそうですが、やがて理解を得て地区民総出の天神様のお祭りや、境内の清掃などを行っています。また最近では子ども会から習字の奉納が、さらに天神様が普原道真にちなんだ勉学の神様でもあることから、受験を控えた学生や父兄の参拝も多く見られるようになりました。

もうひとつ同地区の特色として、町内会の機構が細分化され、多くの人が役員として町内行事に参加していることが挙げられます。これにより、多くの人が外に出て福祉や行政的なことに対しての認識や理解を深め、町内の人同志の会話を増やす効果があります。今、独結町内会でも最も望まれているのが、町内会館の建設です。いつでも自由に集まれる場所があれば、もっと情報交換もできるにと、これだけは神だのみだけでは、まなならぬようです。

あなたも 黄色いハンカチ運動に 参加しましょう

障害を持つ方が街に出て、ちよっと手助けをして欲しい、と思っても声をかけるには勇気がいります。まわりにも手助けをしようかどうしようか迷っているうちにイメージを失ってしま...

秋田県「黄色いハンカチ運動」

な時の合図にと生まれたのが「黄色いハンカチ運動」です。私たちが毎日にげなく暮らしている街も、障害を持っている人にとっては危険や困難がいっぱいで、街に出るには大変な苦労があります。しかし、黄色いハンカチがあれば安心して街を歩けるようになります。この運動を育てていきたいと思います。黄色いハンカチを通して生まれたふれあいを積み重ね、障害者問題をみんなで考え、障害のある人もない人も共に手をとりあいを合せて、だれもが安心して暮らせる町をつくりましょう。